

はじめに

山形県では、「健康寿命の延伸」と「壮年期死亡の減少」を目的とした県民健康づくり行動計画として、「健康文化やまがた21」を平成13年に策定し、県民参加による健康づくり運動を展開しております。このような、健康づくり対策を進めていくためには、県民の生活習慣、栄養素及び食品摂取量の実態を把握し、科学的根拠に基づいた施策の立案及び評価が必要不可欠であります。

昭和53年より、県民の健康づくり対策の基礎資料とするため、「県民栄養調査」を実施してきました。この度、栄養素、食品摂取量及び生活習慣等を把握するため、平成16年11月に「県民健康・栄養調査」を実施いたしました。加えて、本調査結果をもとに、健康文化やまがた21の中間目標値の達成状況の把握を行い、計画の中間評価を実施いたしました。

本調査の結果として、40～50歳代男性の肥満者が増加していること、20歳代女性の低体重者が増加していること、野菜摂取量や牛乳・乳製品の摂取量が減少していること、睡眠が十分に取れていない人が増加していること、喫煙習慣者の割合は、男性は減少しているものの、女性、特に20歳代の女性では増加していることなど、健康や生活習慣上の多くの問題が見受けられました。

今回の調査結果及び中間評価を踏まえ、健康文化やまがた21の重点項目を定めたことから、この項目を中心とした、県民が楽しみながら、継続して、生活習慣の改善に取り組める健康づくり施策を展開してまいりたいと思います。

終わりに、調査に御協力いただきました県民の皆様、市町村等の関係者並びに本調査結果の解析にあたり御指導いただきました国立健康・栄養研究所に対し、深く感謝申し上げますとともに、この報告書が健康づくり事業等の多くの場面で、広く有効に活用されることを心から願っております。

平成18年3月

山形県健康福祉部長

青 山 永 策